

■オランダ：政府、石炭火力停止の具体的なスケジュールを発表：RWEは訴訟も検討

2018年5月21日の専門誌は、オランダ経済省が公表した石炭火力の停止計画を伝えた。これによると、現在運転中の5基のうち1990年代に運転を開始した2基は2024年に、2015年と16年に運転を開始した3基は2029年に運転を停止することになる。オランダで2基の石炭火力発電所を運営する大手事業者RWEは今回のオランダ政府の方針を批判し、特に新しい発電所へは32億ユーロ（約4,200億円）を投資していることから、賠償金を要求する構えで、場合によっては裁判に訴えるとしている。なお、オランダ政府は炭素価格に上乗せする炭素税を検討し、2020年に18ユーロ/CO₂t、2030年に43ユーロ/CO₂tを基準に課税する計画であり、石炭火力にとっては厳しい事業環境となる。